

女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 6改

(平成18年2月分)

| | | | | | |
|------|---|------|---------------------------|------|---------|
| 号機 | 1号機 | 定期検査 | 第17回定期検査 | | |
| 件名 | 原子炉補機冷却海水系および非常用補機冷却海水系（B）における海水の滴下について | | | | |
| 月日 | 平成18年2月23日（木） | | 発生 | 発見 | 確認 |
| 場所 | 原子炉建屋他 | 設備 | 原子炉補機冷却海水系、 非常用補機冷却海水系 | 設備区分 | それ以外の系統 |
| 設備概要 | <p>原子炉補機冷却海水系は、原子炉建屋内のポンプ・モーターなど補機系の冷却水を海水により冷却するものです（当該系統は、放射性物質を含まない系統）。 非常用補機冷却海水系は、非常用ディーゼル発電設備などの補機の冷却水を海水により冷却するものです（当該系統は、放射性物質を含まない系統）。</p> | | | | |
| 所見 | <ul style="list-style-type: none"> 原子炉補機冷却海水系および非常用補機冷却海水系の水張りを実施していたところ、当該系統配管の複数のフランジ部で水の滴下やにじみを発見しました（2月23日）。 当該フランジ部については点検、増し締めを行った後、再度水張りを実施し、滴下がないことを確認しました（2月28日）。 なお、滴下した海水には、放射性物質は含まれておりません。 （3月8日お知らせ済み） 原因は、水張り時に配管内の空気抜きが不十分な状態で作業を中断したため、配管内に残っていた空気の流動等により圧力変動（異常圧）が発生し、フランジから滴下したものと推定されます。 再発防止策として、水張り作業が中断することのないような作業手順とするとともに、系統水張り時には系統圧力の監視を行い、空気抜きが十分行われていることを確認する作業手順とします。 | | | | |
| | <p style="text-align: center;">原子炉補機冷却海水系 概要図</p> | | | | |
| | <p style="text-align: center;">非常用補機冷却海水系 概要図</p> | | | | |